



No.190

心臓財団 季報

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○Tel 03-3201-0810 ○Fax 03-3213-3920 ○e-mail:info@jhf.or.jp ○http://www.jhf.or.jp/

February 10, 2008

第21回 日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成対象研究者決定

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器疾患の研究に携わる35歳未満の研究者が海外の研究機関に留学し、研究を行うための助成事業を実施しております。

21回目の今回は、全国より23名の応募申請があり、1月23日に当財団会議室で選考委員会が開かれ、下記の10名が選考されました。

贈呈式は来る3月30日、福岡で開催される第72回日本循環器学会総会・学術集会(会長:松崎益徳

山口大学大学院医学系研究科教授)時に行われます。助成金はそれぞれ300万円です。

第21回選考委員(敬称略)

委員長	山口 徹	虎の門病院院長
委員	白土 邦男	東北大学名誉教授
(五十音順)	平岡 昌和	厚生労働省労働保険審査会委員
	藤原 久義	兵庫県立尼崎病院院長
	山口 巖	前筑波大学附属病院院長

助成対象者

(五十音順・敬称略・助成金額はそれぞれ300万円)

番号	氏名	所属	研究課題	留学先
1	石丸 和宏 (32歳)	かみいち総合病院 内科医長	プロテオミクスによるアンギオテンシンIIの新しい心臓血管病変促進の情報伝達系解析	テンプル大学医学部心臓血管研究センター(米国)
2	辛島 詠士 (33歳)	九州大学病院 第一内科医員	Na ⁺ /Ca ²⁺ 交換体と塩分感受性高血圧の関連及び治療に関して	メリーランド心臓・高血圧・腎臓病センター(米国)
3	木津 あかね (34歳)	大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学登録医	心臓線維症におけるEMT(上皮間葉形質転換)の関与とその分子機序の解明	ハーバード大学ベス・イスラエル・ディーコネス医療センターマトリックス生物学教室(米国)
4	腰野 結希 (30歳)	筑波大学大学院人間総合科学研究科病態制御医学循環器病態医学大学院生	睡眠時無呼吸症候群が循環動態、自律神経や代謝に及ぼす影響とそのメカニズムの解明	メイヨークリニック(米国)
5	館野 透 (33歳)	東京医科歯科大学大学院分子内分泌内科学メディカルフェロー	血管内皮細胞における(プロ)レニン受容体発現とその血管障害における役割	トロント大学病理部(カナダ)
6	中山 雅敬 (31歳)	名古屋大学大学院医学系研究科薬理学博士研究員	高次血管構造の構築におけるEph-Ephrin signalの機能解析	マックスプランク分子医学研究所組織形態形成部門(ドイツ)
7	藤岡 大佑 (31歳)	山梨大学大学院医学工学総合研究部内科学第2医員	ホスホリパーゼA2を基盤とする心血管病の成因解明とその新しい予防・治療薬の開発	ハーバード大学ブリガム・アンド・ウィメンズ病院リウマチ、免疫、アレルギー科(米国)
8	峰晴 陽平 (31歳)	京都大学大学院医学研究科脳統御医科学大学院生	脳虚血耐性獲得におけるToll様受容体の役割の解明と治療への応用	シダースサイナイメディカルセンター遺伝子治療研究所(米国)
9	安田 知行 (33歳)	神戸大学医学部附属病院循環器内科医員	HDLコレステロール増加による動脈硬化退縮療法の開発	ペンシルバニア大学医学部循環器内科(米国)
10	山本 英一郎 (34歳)	熊本大学大学院医学薬学研究部生体機能薬理学術研究員	eNOSアンカッピングなどによる酸化ストレスと心血管・リモデリングに関する研究	ロチェスター大学医療センター(米国)

第72回 日本循環器学会総会・学術集会「市民公開講座」 健康寿命を延ばすために！ ～生活習慣病に打ち勝つ～

- 日 時：2008年3月30日(日)
14:00～16:40(開場13:00)
- 会 場：アクロス福岡地下2階 イベントホール
福岡市中央区天神1-1-1
TEL:092-725-9113
- 定 員：800名(参加費無料)
- プログラム
- 会長講演
 - 「**心筋梗塞・狭心症を予防する**」
 - 座長：北 徹(京都大学循環器内科学)
 - 演者：松崎 益徳(山口大学器官病態内科学)
- 講演1
 - 「**脳卒中を起こさないために**」
 - 座長：松本 昌泰(広島大学脳神経内科学)
 - 演者：小林 祥泰(島根大学医学部附属病院)
- 講演2
 - 「**高血圧から身体を守る**」
 - 座長：佐々木 淳(国際医療福祉大学理学療法学)
 - 演者：荒川規矩男(福岡大学名誉教授)
- パネルディスカッション
 - 「**生活習慣病を克服しよう!**」
 - 司 会：松崎 益徳
 - コメンテーター：橋本 志穂(タレント)
 - パネリスト：荒川規矩男、北 徹、小林 祥泰
- お申込み方法

参加ご希望の方は(1)郵便番号、(2)住所、(3)電話番号、(4)氏名(ふりがな)、(5)年齢、(6)職業をご記入の上、はがき、FAX、またはE-Mailにて下記宛にお申込み下さい。

- *申し込みの際は、楷書でお書き下さい。
- 申込締切は3月5日(水曜日)当日消印有効
- ハガキでのお申込みは下記「お問合せ先」住所まで。
- FAXでのお申込みは03-3575-1695
- E-Mailでのお申込みはevent@kk-kyowa.co.jp
- ◇複数参加の場合は参加者全員の(1)～(6)をご記入下さい。
- ◇ご質問のある方は、お申し込みの際にお尋ねしたい先生のお名前、質問内容を明記して下さい。
- ◇応募者多数の場合は、抽選を行いますのでご了承下さい。当選者発表は招待の発送をもってかえさせていただきます。尚、「ご招待状」1枚につき1名様限り有効です。(3月上旬発送予定)
- 【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただきました個人情報は、本市民公開講座のご出席者の確認の際に主催関係者のみで使用し、その他の第三者に提供することはありませんのでご了承下さい。

- お問合せ先
 - 〒105-0004 東京都港区新橋2-20
新橋駅前ビル1号館9階
 - (株)協和企画内
 - 「第72回日本循環器学会市民公開講座」事務局S係
 - TEL:03-3573-2066(直)(土・日・祝日を除く9～18時)
- 主 催：第72回日本循環器学会総会・学術集会、
日本心臓財団、朝日新聞社
- 後 援：福岡県、福岡市、日本医師会、福岡県医師会、
福岡市医師会、山口県医師会
- 協 賛：第一三共株式会社

第6回日本心臓財団動脈硬化 Update 研究助成募集

「動脈硬化」は、脳卒中、心臓疾患、糖尿病等と関連が深く、高齢化が進む今日、これらの予防、治療はますます重要です。動脈硬化研究の一層の発展と少壮研究者の育成のために、動脈硬化領域における基礎、臨床、疫学に携わる研究者に助成します。

1. 研究助成金
 - 最優秀賞 200万円1件、優秀賞 100万円2件、奨励賞 30万円2件
2. 応募資格
 - 1) 対象：原則として個人研究
 - 2) 年齢：1968年4月1日以降に生まれた者
 - 3) 施設：臨床教室及びそれに準ずる施設
 - 4) ただし、次の事項に該当する者は応募できない。

- ・同一研究テーマで他の助成を受けた者
- ・研究発表会(9月6日(土))当日に口演不可能な者
- ・前年度の助成対象者
- 5) 海外で行った研究については応募除外(国内のみ)とする。
- 6) 原則として日本国内の研究施設に所属する者に限る。
- 7) 倫理上問題となることが予想される研究については、所属施設の倫理委員会の承認を得ていることを示す書類のコピーを添付する。
- 3. 応募締切日
平成20年5月16日(金)必着

●日本循環器学会関連市民公開講座(同時開催)●

第6回 心肺蘇生法市民公開講座「だれでもできる心肺蘇生法・だれでも使えるAED」

- 日 時：2007年3月29日(土)13:00～16:00
- 会 場：アクロス福岡 4階 国際会議場
- 募集定員：100名
- 司 会：平井 信孝(熊本地域医療センター医師
会病院)

- プログラム：
 1. 特別公演「スポーツ中に突然起きる心臓震盪(しんとう)から命を救え」
興水 健治(埼玉医科大学総合医療センター救急科)
 2. AEDを用いた心肺蘇生法実習

第6回 禁煙推進のための市民公開講座「みんなの健康を守ろう・絶対！禁煙」

- 日 時：2008年3月30日(日)13:50～15:50
- 会 場：福岡国際会議場 2階 第3会場
- 募集定員：100名
- 座 長：鄭 忠和(鹿児島大学循環器・呼吸器・
代謝内科学)
朔 啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学)

●プログラム：

1. 「喫煙の健康被害」

- 渡辺憲太郎(福岡大学医学部呼吸器内科学)
2. 「タバコをやめるのに治療を受けよう」
飯田 真美(JA岐阜厚生連中濃厚生病院)
3. 「禁煙推進一体操をしよう」
森山 瑛子(福岡大学スポーツ科学部)
4. トークショー「ちょっといい禁煙の話」
セイン カミュ(タレント)

● 上記関連催事のお申込み先 ●

どちらも参加費無料。住所・氏名・年齢・ご住所を明記の上、下記までハガキ、FAX、メールにて3月17日(月)必着でお申し込み下さい。事前に招待状をお送りします。

〒810-0002 福岡県福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7階 日本コンベンションサービス(株)九州支社内
・心肺蘇生法にお申込みの場合は「日本循環器学会S係」宛
・禁煙推進にお申込みの場合は「日本循環器学会K係」宛

■FAX：092-712-6262(お問い合わせのみ／TEL：092-718-0588) ■E-Mail：jcs72-ol@convention.co.jp



書籍紹介

「医学と利益相反—アメリカから学ぶ」

(三瀬朋子 著、弘文堂) 四六判 定価2,625円(税込) 2007年12月刊

産学協同のもとに行われる多くの臨床研究は、現在の医学の発展に欠かせないものですが、反面、利益相反(Conflict of Interest)の問題が生じます

医学研究における利益相反には、「患者の利益」と「医師および研究者の利益」との衝突、および「科学的客観

性」に及ぼす影響などが考えられます。

この本では、20年先に行くアメリカで起きた医学研究における利益相反に関する事件と判決、その後の行政および医師団体の自主規制によるルール作りを通して行われた「医学研究」に対する信頼回復への道を丹念に解説し、その問題点を整理しています。



書籍紹介

「ドキュメント 医療危機」

(田辺 功 著、朝日新聞社) 四六判 定価1,575円(税込) 2007年12月刊

朝日新聞社編集委員であり、約40年間、医療担当記者として日本の医療を取材してきた著者が、昨年、朝日新聞紙上で好評連載されたシリーズを中心にまとめたものです。連載時から医療関係者の間では話題になっていましたが、紙面で伝えきれなかった記事、著者の思いも含めて加筆され、現在の医療が直面している数多くの問題を鋭い視点で浮き彫りにしています。

著者は、ずっと以前から医師の労働時間が長く、過酷な状況にあることを知っており、それが医師の尊い使命感に支えられていることを感じていました。しかし、医療費の切り詰め政策や、常に完全を求めるメディアや国民に、医師たちは疲弊し、倒れつつある現在、医療現場からの声を中心に、医師不足や医療事故の背景にある問題について考察しています。

